

# ●敦賀総合研究開発センター

## 2020年度原子力・エネルギーに関する教育支援活動の実績

敦賀総合研究開発センターでは、嶺南Eコースト計画の活動の一つとして、福井県内の小中学生・高校生への原子力・エネルギー教育を推進しています。

2020年度はコロナ禍ではありましたが、多くの学校から申し込みをいただき、グループ実験から個別実験への変更、授業毎の実験器具の除菌など、コロナ感染症対策を講じた上で、講師派遣、学習教材提供、体験イベント等、合計100回を超える支援活動を行うことができました。

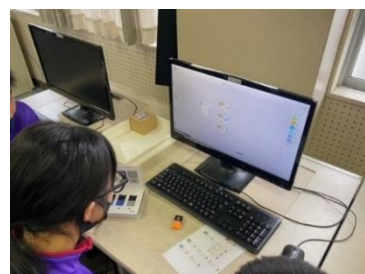
今後も子供たちが理科、科学技術そしてエネルギーに興味をもってもらえるよう、引き続き教育支援活動に取り組んでまいります。



放射線の授業への講師派遣



「あっとほうむ」での科学工作教室



プログラミング教材の提供



自作の霧箱での自然放射線の観察

## ●地域共生部

### 若年層への理解促進活動について

広報チーム「あっぷる」では、若年層向けの活動として、対象年齢に合わせた、あっぷるオリジナルかるた大会や工作教室を行っています。

2020年度は、敦賀市内の児童クラブにおいて、コロナ感染症対策を講じ、密を避ける手法により、かるた大会等を実施し、多くの児童の皆さんに楽しんでいただきました。

今後も継続してこのような活動を続けてまいります。

ご興味のある方は、ぜひお問合せください。

#### 🍏お問合わせ先

敦賀事業本部 地域共生部 広報チーム「あっぷる」事務局  
TEL 0770-21-5026 FAX 0770-21-2045



児童クラブでのかるた大会の様子



発行:令和3年3月

#### ● 本資料に関するお問合せ先 ●

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 地域共生部 地域共生課  
〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20 【TEL】0770-21-5026 【FAX】0770-21-2045  
原子力機構ホームページ: <https://www.jaea.go.jp> 敦賀事業本部ホームページ: <https://www.jaea.go.jp/04/turuga/>

## JAEA 原子力機構 敦賀事業本部からのお知らせ

### 地域の皆さまへ

## 2020年度を振り返って

「もんじゅ」では、2018年度から2022年度までの計画で、原子炉容器及び炉外燃料貯蔵槽に保管されている530体の燃料体を燃料池に取り出す作業を進めています。

2020年度は、炉外燃料貯蔵槽から燃料池への174体の燃料体取出し(~2020年6月)と、原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽への146体の燃料体取出し(~2021年2月)を、安全に計画どおり完了しました。この結果、

これまでの作業により、530体の燃料体のうち、260体について燃料池への取り出しを完了したところです。

今後は炉外燃料貯蔵槽の146体の燃料体を燃料池へ取り出す計画であり、安全かつ計画どおり作業を進めることができるよう、準備作業を進めてまいります。

「ふげん」では、原子炉周辺設備の解体撤去を進めており、2ループある一次冷却系設備のうち、Aループの解体撤去に引き続き、Bループの解体撤去に着手しました。使用済燃料の搬出に関しては、昨年秋の行政事業レビューにおいて、様々な議論がありましたが、当初計画通り進めることの確認を受けました。2026年夏頃に搬出完了という地元とのお約束を守るべく、原子力規制委員会に申請した輸送容器の設計承認に係る審査対応や製造等を進めています。

2020年度は、コロナ感染症対策に取り組みながらの事業運営となり、原子力施設への入構制限等、皆さまにご不便をおかけすることとなりましたが、大きな事故や災害もなく事業を完了することができました。皆さまのご理解、ご支援に感謝申し上げます。

今後も安全確保を最優先に廃止措置作業を進めてまいりますので、引き続きご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敦賀廃止措置実証本部長  
安部 智之

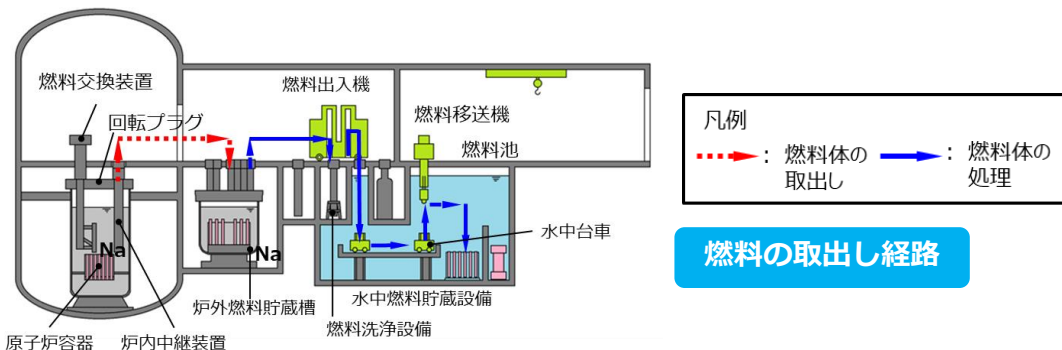




# ●高速増殖原型炉もんじゅ

## 「もんじゅ」燃料体取出し作業について

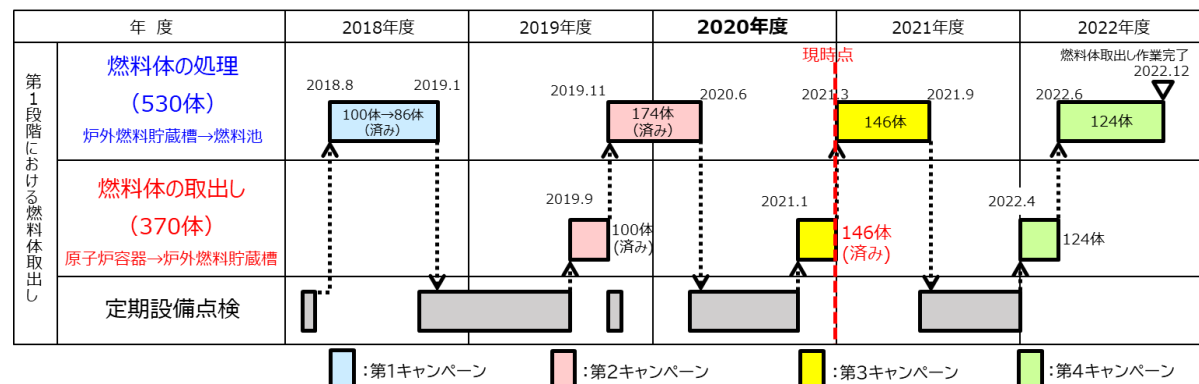
「もんじゅ」では、2021年1月23日から第3キャンペーンの「燃料体の取出し」を開始し、原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽へ146体の燃料体を取り出す作業を2021年2月18日に終了しました。続いて、取り出した146体の燃料体を炉外燃料貯蔵槽から燃料池へ移送する「燃料体の処理作業」を予定しており、作業に必要な準備を開始しました。今後も引き続き安全を最優先に作業を行ってまいります。



### 燃料体の移送・貯蔵状況及び計画

	取出し開始時	2018年8月30日 ～ 2019年1月28日	2019年9月17日 ～ 10月11日	2020年2月5日 ～ 2020年6月1日	2021年1月23日 ～ 2021年2月18日	今回の作業終了時	2022年度取出し完了時
原子炉容器	370体					124体	0体
炉外燃料貯蔵槽	160体	炉外燃料貯蔵槽から燃料池に86体移送	原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽に100体移送	炉外燃料貯蔵槽から燃料池に174体移送	<b>原子炉容器から炉外燃料貯蔵槽に146体移送</b>	<b>146体</b>	0体
燃料池	0体					260体	530体

注)燃料池には上記のほか、過去に取り出した燃料体2体を貯蔵しています



※進捗状況によって変更の可能性があります

廃止措置の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染予防・拡大防止対策に取り組みつつ、安全確保を最優先に、立地地域並びに国民の皆さまのご理解をいただきながら、着実に進めてまいります。



# ●新型転換炉原型炉ふげん

## 原子炉周辺設備の解体作業について

「ふげん」では、廃止措置工程の第2段階期間として、原子炉本体の周辺機器・配管等の本格的な解体撤去を進めています。2020年2月から開始した原子炉冷却系のAループ側の配管や機器類の解体撤去に引き続き、同じ原子炉冷却系のBループ側の解体撤去に着手しました。今後も引き続き安全を最優先に作業を行ってまいります。

「ふげん」原子炉建屋鳥瞰図



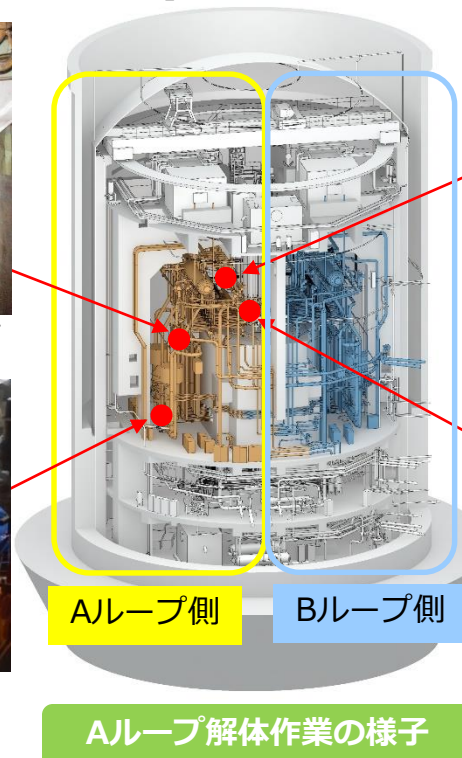
分配管(原子炉入口管)の溶断面



主蒸気管細断作業



再循環ポンプ吸込み管解体



Aループ側

Bループ側

Aループ解体作業の様子



上昇管(原子炉出口管)切断

	① 重水系・トリウム系等の汚染の除去期間	② 原子炉周辺設備解体撤去期間	③ 原子炉本体解体撤去期間	④ 建屋解体期間
年度	2008～2017	2018～2022	2023～2031	2032～2033
工程	重水搬出、トリチウム除去	使用済燃料搬出 重水系・核燃料取扱設備の解体撤去	原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設等の解体撤去 原子炉本体の解体撤去	建屋解体

「ふげん」廃止措置工程